

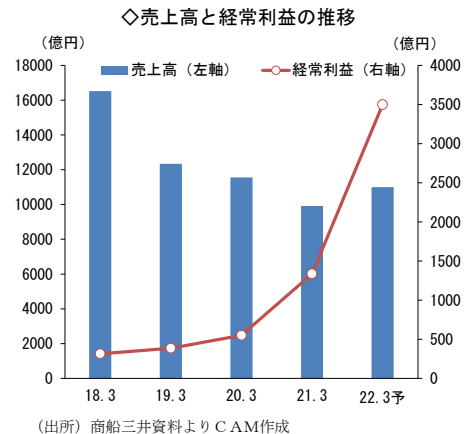
# 企業ニュース 商船三井

(東証1部: 9104) <https://www.mol.co.jp/ir/index.html/>

作成者: 高見澤晶子

## 海運事業に特化した事業展開

総合海運大手。21. 3期の事業別売上高構成比は、ドライバルク船22%、エネルギー輸送28%、製品輸送40% (コンテナ船22%、自動車船等18%)、関連事業8%、その他2%。持分法適用会社のオーシャン ネットワーク エクスプレス ホールディングス (以下、ONE) は、コンテナ船市況の好調を背景に収益改善が続いている。市場では需給バランスの正常化に伴う先行きの運賃下落が懸念されているが、足元では強い輸送需要と港湾・内陸の混雑が継続しており、その兆しはまだ見られていない。現状では、上期まではコンテナ運賃の高水準が続くという見方が多く、当面はONEの好調な業績が商船三井の持分法投資利益の改善につながると期待される。



## 経常利益が過去最高を更新する見込み

22. 3期・第1四半期 (4-6月) の連結業績は、売上高が2,889億円、前年同期比15%増、営業利益が80億円、同132億円増 (前年同期は51億円の赤字)、経常利益が1,043億円、同14倍。ONEの増益が寄与し、経常利益が大幅増益となった。ドライバルク船の市況改善や自動車船の輸送台数回復なども増収増益に寄与した。

22. 3期の通期会社計画は、売上高が1兆1,000億円、前期比11%増、営業利益が350億円、同403億円増 (前期は53億円の赤字)、経常利益が3,500億円、同162%増。コンテナ船における想定以上の荷動きと運賃高騰、ドライバルク船の好市況などを背景に期初から2度目となる上方修正を発表。経常利益は2007年度の3,022億円を上回り、過去最高を更新する見込み。また、1株当たりの年間配当予想を期初の150円から550円に増額した。会社はコンテナ船市況について、中国の大型連休である10月の国慶節以降の軟化を想定しており、下期計画を保守的に組んでいる。ただし、港湾・内陸の物流混雑が続く場合は計画上振れの可能性があるとしている。

## [株価動向・投資判断]

好調な業績が好感され、株価は上昇している。増益に伴う大幅な増配など、積極的な株主還元姿勢も評価されよう。

<9104 商船三井 業績: 日本基準>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
20. 3	1,155,404 (▲ 6)	23,779 (▲ 37)	55,090 ( 43)	32,623 ( 21)	272.8	65.00
21. 3	991,426 (▲ 14)	▲ 5,303 ( -)	133,604 ( 143)	90,052 ( 176)	753.0	150.00
22. 3 予	1,100,000 ( 11)	35,000 ( -)	350,000 ( 162)	335,000 ( 272)	2,797.2	550.00

(注) 22.3期より「収益認識に関する会計基準」等を適用



[主要株価指標]	(売買単位: 100株)
株価 (2021/8/6)	6,890 円
年初来高値 (高値日)	7,070 円 (21/8/6)
同 安値 (安値日)	2,710 円 (21/1/28)
予想 P E R (22. 3 予)	2. 5 倍
1株株主資本 (PBR算出用)	5,878. 9 円
P B R	1. 17 倍
予想配当利回り	7. 98 %
(1株当たり配当金年550. 00円)	
R O E (21. 3)	16. 5 %
発行済み株式数	12,063 万株